

平成24年度

24 災 121 号

道 路 災 害 復 旧 工 事

特 記 仕 様 書

(実 施)

大 湊 村

平成24年10月

共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「秋田県土木工事共通仕様書（平成２４年４月以降適用）」に基づき実施しなければならない。

１．共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記事項は次のとおりとする。

第１章 総 則

第１条 工事用地等の使用

工事施工上、請負者が必要とする用地については、請負者の責任において準備・確保するものとする。

第２条 交通安全に関する事項

本工事施工にあたっては、当該工事箇所（村道 南北東線）に交通誘導員を配置するものとする。

第３条 官公庁等への手続き

請負者は、工事着手前に道路交通法第７７条第１項による道路使用許可を受け、その写し及び許可条件等を監督職員に提出するとともに、関係機関（消防、交通機関等）に所定の用紙に基づいて連絡すること。

第４条 規格値

本工事に用いる規格値は、土木工事共通仕様書施工管理基準によるほか、規格値が無いものについては、別途監督職員と協議のうえ管理値を定め、それを施工計画書に記載するものとする。

第５条 施工管理

請負者は、段階確認の項目と予定時期について施工計画書に明示し、提出すること。

第２章 材 料

第１条 再生資材

１．工事に使用する再生（瀝青）資材は次表のとおりとする。

材料名	規 格	工種（使用箇所）	摘 要
アスファルト	再生②密粒度 As(20)	車道 （表層）	
アスファルト	再生②密粒度 As(13)	車道 （表層）	

第3章 一般施工

第1条 一般事項

請負者は、着手前に施工箇所、範囲等について監督職員の立ち会いのもとで現地を確認すること。

第2条 計画図面作成

請負者は、施工前に縦横断測量を行い、舗装計画図面を作成のうえ、設計図書に関して監督職員の承諾を得るものとする。

第4章 舗装

第1条 提出資料

受注者は、アスファルト混合物の品質を証明する資材を、工事完成時に監督職員に提示・提出しなければならない。

(1) 提示すべき資料

①材料の契約書

②出荷伝票

(2) 提出すべき資料

①納入量一覧表（出荷伝票の内容をまとめたもので、工場側責任者の署名・押印有り）

平成24年度

24災121号

道路災害復旧工事

現場説明事項書

(実 施)

大 湊 村

平成24年10月

現場説明書（条件明示）

工事の実施にあたっては、秋田県土木工事共通仕様書、同施工管理基準・品質管理基準及びその他指定された図書を参考とし、かつ以下の事項について施工条件とします。

第1編 共通編 第1章 総 則

第1節 設計変更に伴う契約変更の取扱

① 設計変更の手続き

本工事に係る設計変更の内容通知については、設計変更内容が明らかとなった時点で総括監督職員が内容を掌握し、それに関して予算の範囲内で執行可能であることを確認した上で工事打合せ簿により監督員を通じて行うものとします。

② 契約変更の手続き

設計変更に伴う契約変更の手続きは、その必要が生じた都度、遅滞なく行うものとします。
ただし、軽微な設計変更に伴うものは、工期の末に行うことをもって足りるものとします。

③ 軽微な設計変更

軽微な設計変更に伴うものとは、次に掲げるもの以外とします。

- （１） 構造、工法、位置、断面等の変更で重要なもの
- （２） 工事打合せ簿による変更見込金額の合計額が当初契約金額の 30%を超えるもの

第2章 基 準 等

第1節 参考図書

設計図書の外に提示する「参考図書」については、現場説明参加業者の迅速な見積りに対しての一資料であり、請負契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

第2節 積算基準

工事費の積算は、以下の積算基準に基づき実施しています。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ①土木工事標準積算基準書〔共通編〕 | （平成 24 年 10 月 1 日以降適用） |
| ②土木工事標準積算基準書〔道路編〕 | （平成 24 年 10 月 1 日以降適用） |
| ③土木工事標準積算基準書〔参考資料〕 | （平成 24 年 10 月 1 日以降適用） |
| ④建設機械等損料算定表 | （平成 24 年 10 月 1 日以降適用） |

第2編 現場説明事項

第1章 条件明示

第1節 安全対策関係

当該現場は周辺に住宅や公共施設等があるため、交通量が多いので状況に応じた適切な交通誘導員配置を行い、安全に十分配慮した対策を計画・実施してください。

工事期間中の交通管理として、交通誘導員（B）を42名計上していますが、現地の状況、関係機関等との協議により変更が必要な場合は別途協議します。なお、交代要員は無しとしています。

第2節 建設副産物関係

アスファルト殻は「鹿島道路 株式会社 大潟合材製造所」に搬出するものとして積算しています。

第3節 残土処理

本工事で発生する残土については、南秋田郡大潟村西5丁目地内（運搬距離2.3km）に運搬し、処理するものとして積算しています。

第4節 その他

本工事における施工条件について、明示されなかった新たな事項が発生した場合は、別途協議致します。